

# 飯梨川工業用水道事業 中期事業計画

## 1. 計画の位置づけ

飯梨川工業用水道事業は給水開始から50年近く経過し、漏水等のトラブルが発生するなど施設の老朽化が進行しています。

今後も継続して飯梨川工業用水道事業を安定的に運営するため、適切な維持管理による施設の長寿命化を図りつつ、耐震対策も含めた施設の修繕や更新を進めるための指針として「飯梨川工業用水道事業 施設管理基本計画」（以下「施設管理基本計画」という。）を策定しました。

この計画は、施設管理基本計画に基づき、今後20年間の具体的な大規模修繕・更新事業計画を取りまとめたものです。

## 2. 計画期間

中期事業計画の計画期間は、平成30年度から平成49年度までの20年間とします。

## 3. 施設規模

施設更新に伴う過大投資を防ぎ、更新事業費の縮減を図るため、施設の更新にあたっては、施設管理基本計画の方針に基づき、施設容量の縮減や管路口径の縮径といった適切な規模への見直し（ダウンサイジング）を行います。

### (1) 現状施設の計画給水量と契約水量

飯梨川工業用水道事業の計画給水量は、昭和41年度に策定された「中海地区新産業都市建設基本計画」で想定された需要量となっています。

表1に計画給水量と現在の契約水量を示します。

表1 工業用水計画給水量と契約水量

地区名	計画給水量 (m <sup>3</sup> /日)	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
安来地区	15,000	14,814
荒島地区	6,000	0
東出雲地区	5,000	3,030
馬潟地区	8,000	2,096
合計	34,000	19,940

### (2) 将来の需要見込み

現在の契約水量（19,940 m<sup>3</sup>/日）は、計画給水量（34,000 m<sup>3</sup>/日）の58.6%であり、近年減少傾向にあります。

また、平成29年7月に実施した「将来の使用水量調査」の結果から、現在の受水企業の需要量に、当面大きな変動はないと考えられます。

一方で、島根県企業局経営計画では、県関係部局、地元市、商工団体等からの情報収集や、工業用水利用の可能性のある企業への個別訪問等により、新規需要の開拓を図ることとしており、平成37年度の売水率を60%（契約水量：20,400m<sup>3</sup>/日）にすることを目標に掲げています。

### （3）更新時の施設規模

更新時の施設規模については、一旦施設をダウンサイジングすれば需要量の増加に対応できないものの、現状では大幅な増加が見込めないことから、若干の新規需要と漏水等不測の事態を考慮し、次のとおりとします。

- ・施設能力は、現在の契約水量に、新規需要や漏水等の変動要因（460m<sup>3</sup>/日）を加えた、日量20,400m<sup>3</sup>（経営計画目標）を基本とする。
- ・中期事業計画期間中に更新を行う施設は、上記をふまえてダウンサイジング（施設容量の縮減、管路口径の縮径）を行う。

なお、将来の需要見込みに大幅な変動が生じた場合は、施設規模を見直します。

## 4. 事業計画

今後20年間の大規模修繕・更新の計画は、次のとおりとします。

### （1）土木・建築施設

- ・対象となる施設は、沈砂池、水管橋、埋設管路 他
- ・事業費は、約16億6千万円

### （2）機械・電気設備

- ・対象となる設備は、ポンプ設備、受配電設備 他
- ・事業費は、約3億8千万円

※詳細は、別表「各年度の事業計画」、別図「飯梨川工業用水道施設全体図」のとおり

※事業費規模を給水原価に換算した場合、7円/m<sup>3</sup>程度

### （3）その他

大規模修繕・更新の他、施設の長寿命化や機能維持を図るため、定期的な点検調査や補修・整備等を行います。

（主な項目）

- ・水管橋塗装修繕（10年毎を目途）
- ・配水池屋上防水塗装修繕（25年毎を目途）
- ・ポンプ設備分解点検整備（10年毎を目途）
- ・土木建築施設（埋設管路含む）点検（5年毎）
- ・水管橋点検（上部工：2年毎、下部工：5年毎）
- ・計装機器、電食防止装置点検（2年毎）

## 5. 計画策定の効果

施設管理基本計画に基づき、適切な維持管理による施設の長寿命化を図りつつ、更新時期や施設規模の見直し、事業費の平準化を図った結果、中期事業計画（20年間）における更新事業費は、現在の施設を法定耐用年数・同規模で更新する場合と比べて、約63億円（76%）縮減され、約20億円となりました。

このうち、更新時期の見直しと事業費の平準化による効果は約61億円、施設規模を見直したことによる効果は約2億円となっています。（図1）

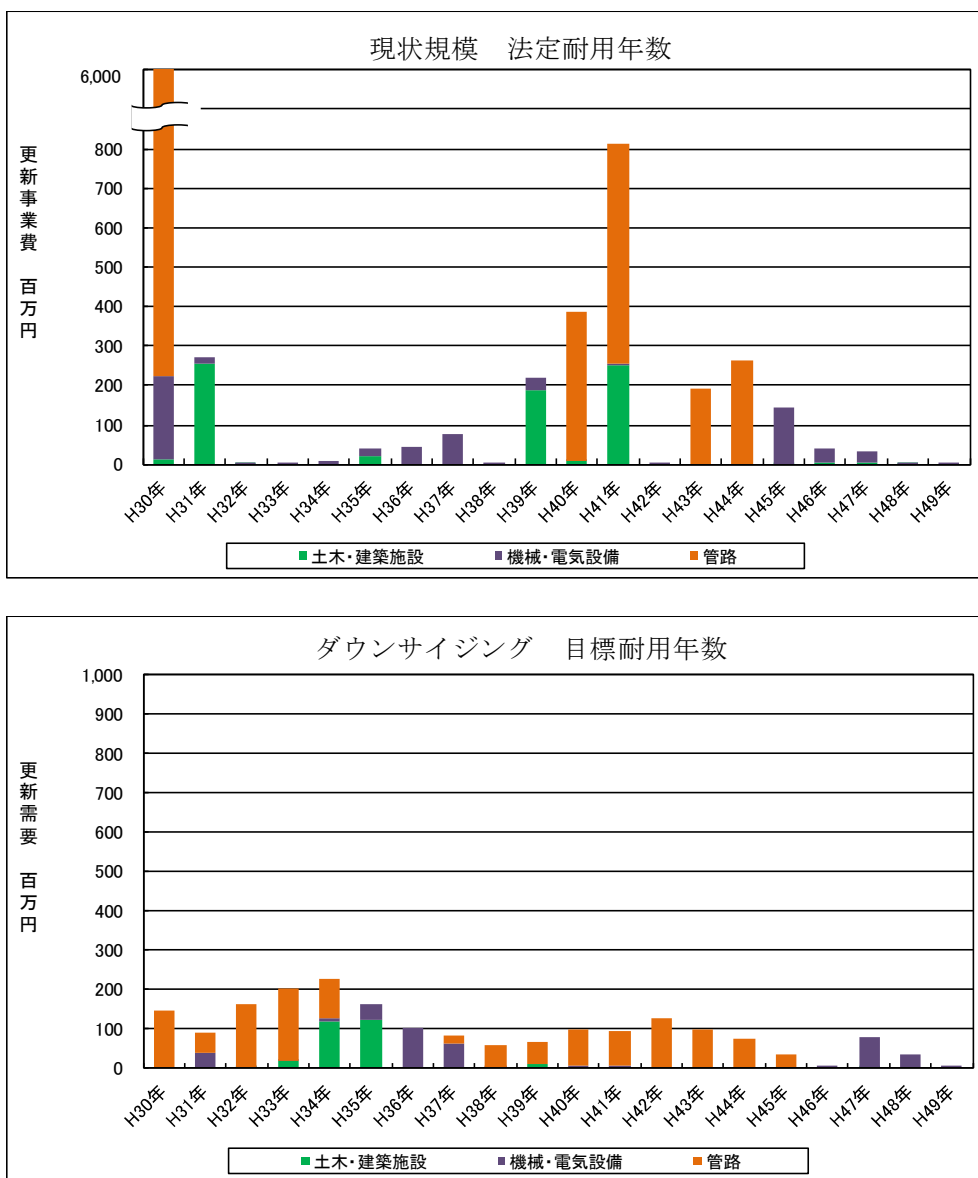


図1 更新事業費

## 6. 計画の進め方

本計画に基づき、施設の修繕・更新を進め、工業用水の安定供給を図ります。

また、事業実施にあたっては、新技術等の採用も含めて工法を検討し、経費削減に努めます。

なお、事業を取り巻く環境に大幅な変化が生じた場合は、必要な見直しを行います。



# 別図 飯梨川工業用水道施設全体図

